

第 154 回講習会「科学英語の書き方とプレゼンテーション」



名古屋工業大学
大学院工学研究科 工学専攻
機械工学プログラム
教授
玉野 真司



岐阜大学
工学部機械工学科
機械コース
教授
上坂 裕之

1 はじめに

本講習会は 2025 年 11 月 21 日（金）13:00～17:00 に zoom によるオンライン講習として実施しました。また、当日参加できない方にも広く受講いただけるように、また復習にもご活用いただけるように昨年度に引き続き、見逃し配信も実施しました。当団は以下に紹介する 3 名の先生方による講演を行いました。

2 講習内容

＜講演 1＞13:00～14:20 「科学技術研究論文の書き方」ペトロス・アブラハ（名城大学 教授）

科学技術研究論文の書き方について項目に分けて詳しく説明していただきました。受動態と能動態の使い分け、国際会議論文の場合の対応、ストーリーについてなど、多くの質問がありました。論文執筆に慣れていないと思われる学生にも有意義な講義でした。

＜講演 2＞14:30～15:30 「英語コミュニケーション能力を高める実践的ツール」ジェームス・カーリー（名古屋大学 テクニシャン）

プレゼンテーションをする際の重要な点、まとめ方、話し方等について、欧米とアジアの文化の違いも含めて、わかりやすく説明していただきました。練習を重ねることの重要性を理解できました。ユーモアをどのように発表に組み込むのか等についての質問がありました。

＜講演 3＞15:40～17:00 「AI を駆使した英語プレゼンテーションスキルの自己学習法」エマニュエル・レレイト（名古屋大学 講師）

プレゼンテーションの構成方法や重要な点等につ

いて解説するとともに、プレゼンスキル向上のための AI の活用方法について操作や実践を交えて説明していただきました。また、オンラインツール（Canva）を用いたスライド作成方法について、具体的に説明いただきました。Q&A の練習法についての質問などがありました。

3 本講習会の振り返り

本講習会には総勢 80 名の申し込みをいただきました。学生 30%，企業 42%，大学教員 24% と幅広く参加いただきました（図 1）。講習会への参加形態としては、当日参加が 70 名であり、見逃し配信があるものの、大多数の方に当日参加いただきました。

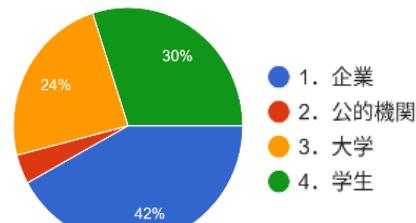


図 1 参加者属性内訳

講習会の内容については、多くが肯定的なご意見でした。その一方、内容が難しかった、時間に余裕をもたせて欲しいなどのご意見がありました。

運営については、大多数の方から肯定的なご意見をいただきました（図 2）。ただ、一部の講演で画面共有のトラブルがあり、事前接続確認のご指摘や、質疑応答の時間を長めにした方が良い等のご意見をいただきました。

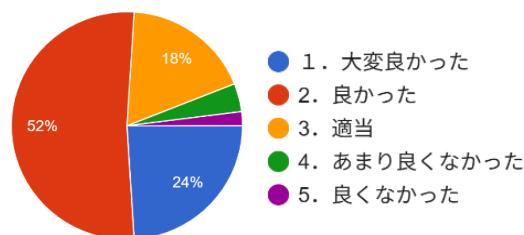


図 2 講習会の運営について

4 次回実施に向けて

講師の先生方には、受講者のスキルを向上させるための方法をとても熱心に考えていただいている。英語による論文作成やプレゼンテーションについて基礎から学びたい方、より効果的なコミュニケーションスキルを磨きたい方等、多くの方にお勧めできる講習会です。今後も多数の皆様のご参加をお待ちしております。